



発行
小山町教育委員会
学校教育課
令和8年8月17日

OYAMA × CS通信

vol. 1 令和8年度 夏号

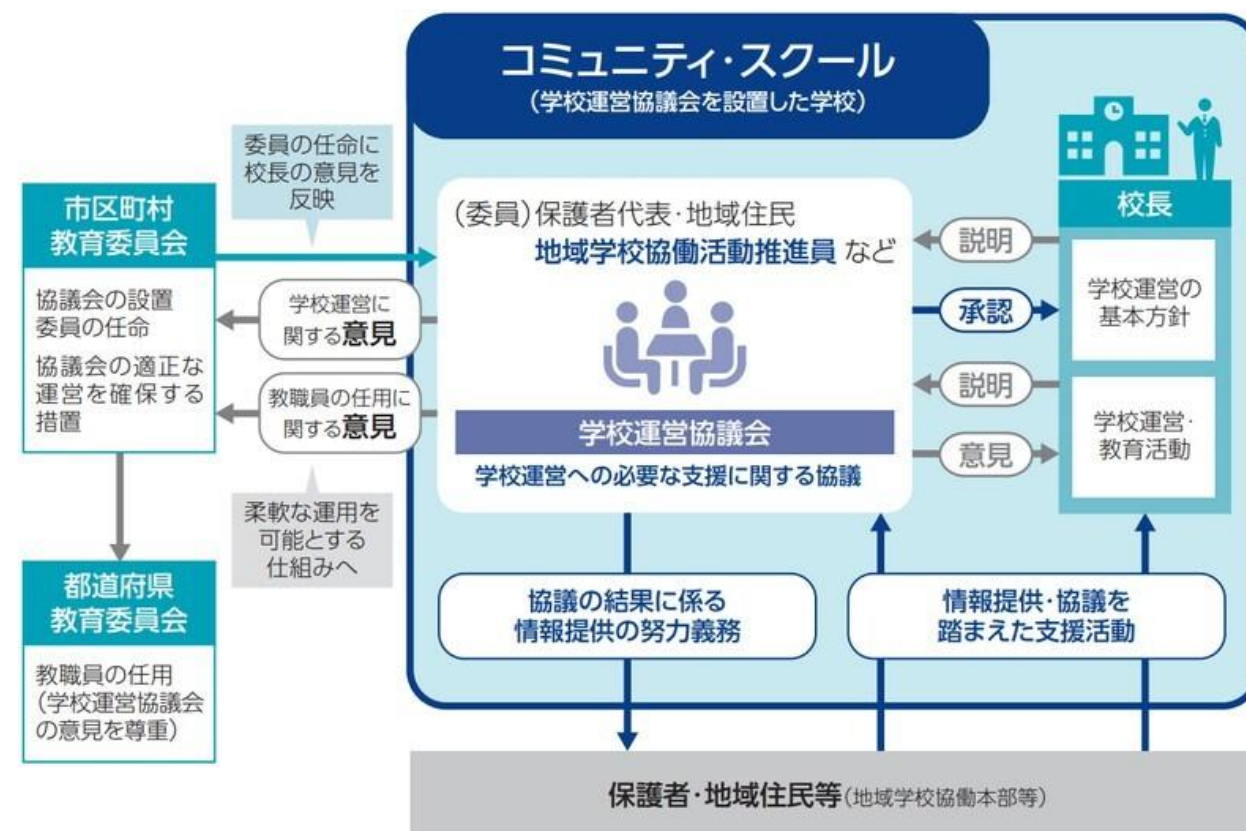
小山町では、地域と学校が一体となって子どもたちの成長を支える「コミュニティ・スクール」の取り組みを積極的に進めています。地域ぐるみの教育をさらに充実させていくために、本誌を通してコミュニティ・スクールの活動や進捗をお知らせしてまいります。

地域とともにある学校づくり



知っておきたい「コミュニティ・スクール」のしくみ

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校づくり」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。



コミュニティ・スクールに関する詳細な情報や
全国の事例などは文部科学省のHPに掲載

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/> もしくは [学び未来](#) で検索



■学校運営協議会とは

「学校+保護者+地域」が一緒に子どもを育てるための組織であり、地域と学校の話し合いの場です。



■学校運営協議会と学校評議員制度の違い

大きな違いは、その役割と権限にあります。

学校運営協議会は、単に意見を述べるだけでなく、学校運営に参画する役割を担っています。校長が作成した方針を承認し、一定の責任を持って「共に学校を創っていく」という意識が求められます。

【学校運営協議会の権限】

- ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- ・学校運営に関する意見を教育委員会または校長に述べることができる
- ・教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について教育委員会に意見を述べるができる

【学校運営協議会の役割】

- ・学校と地域をつなぐ
- ・学校を支えるパートナー
- ・学校運営のチェック機能

【学校評議員制度とは】

地域の方が学校にアドバイスをする（意見を伝える）制度であり、学校運営協議会と異なり、評議員に学校関係者は含まれません。

■コミュニティ・スクール ディレクターの紹介

地域と学校の橋渡し役として、3名のディレクターが活動しています。



松本 孝則
(まつもと たかのり)
成美小、明倫小、足柄小、小山中



山本 智春
(やまもと ちはる)
北郷小、北郷中



高橋 靖彦
(たかはし やすひこ)
須走小、須走中

【役割】

会議運営の補助や関係者との連絡・調整など、学校運営協議会に関わる様々な業務を行います。それぞれの学校や地域の実情に応じ、学校と地域をつなぐ架け橋として活動します。

■教育委員会担当職員

- ・指導主事 相澤 秀彦
- ・情報支援員 山崎 敦子